

事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

I. 施設の企画・運営・管理事業（指定管理事業）

2020年度の指定管理事業は、新型コロナウイルスの感染拡大で全国に緊急事態宣言が出された4月17日から6月9日まで、静岡市の方針に従って貸室を利用中止にしたものの、いち早くオンライン講座を取り入れ、相談室や図書コーナーも休止することなく工夫して継続し、年度当初計画した事業はすべて実施できた。

※詳細は「静岡市女性会館指定管理事業報告書」を参照。

1. 男女共同参画推進事業

事業名	内容	実績
講座企画運営事業	22ジャンル48回の講座を実施。	参加者 延べ1,280人 (新規利用者268人 満足度95.0%)
相談事業	①女性のための総合相談 ②女性のための就職・転職・キャリア相談 ③性的少数者の電話相談	①1,938人 ②36人 ③31人
情報収集・発信事業	①図書コーナー運営 ②HP ③情報誌等発行 ほか	①延べ4,612人 貸出冊数16,583点 ②延べ47,255人 ③延べ10,900部
Jo-Shizu 人材活用事業	①メンタリング ②カレッジ修了生やメンターとの交流事業 ③他機関への紹介・コーディネート	①6件 ②延べ25人 ③17人
団体活動支援事業	①男女共同参画団体の活動支援 ②当事者グループ支援	①男女共同参画団体 57団体 ②当事者団体 1団体
その他事業	①利用者（講座受講者）アンケート ②市民アンケート（緊急WEB調査等） ③職場体験・インターンシップ ③視察受け入れ ほか	①回答者 延べ741人 ②回答者 359人 ②大学生 4人 ③1件5人

2. 施設管理運営事業

	開館日数	利用件(区分)数	利用者数	利用率
2020年度	334日	4,954件	38,693人	38.9%
(参考2019年度)	333日	7,684件	85,132人	51.1%

3. 組織運営

事業名	回数	参加延べ人数
外部研修	21回	51人
内部研修（スーパービジョンは除く）	10回	148人

(成果)

- ・コロナ禍でもすべての事業を工夫して実施することができた。講座企画運営事業の市との協定の目標値をみると、講座満足度は達成。図書貸出業務は、担当職員が創意工夫を重ねたことで目標値の貸出冊数を大きく上回り、前年比40%増となった。
- ・全国に先駆けて「新型コロナウイルスが女性に及ぼす影響」について緊急WEB調査を行った。調査結果を発信するとともに女性が必要としている相談窓口等の情報を一覧にしてHPで提供できた。
- ・2016年度から取り組んでいる女性への暴力防止運動の「パープルリボンプロジェクト」が全国女性会館協議会主催の第14回事業企画大賞を受賞した。全国大会では担当職員がその取り組みをZoomで発表した。
- ・女性のための相談は、全国に緊急事態宣言が出されていた時期も電話相談は止めずに実施。8月まで前年同月を下回っていた相談件数は9月から急増し、年間では100件増となったが年間を通じ対応できた。

- ・月1回の定期開催となった性的少数者を対象とした「にじいろ相談」の利用も31件あった。

(課題)

- ・講座企画運営事業の市との協定の目標値をみると、コロナ禍で三密を避けるために例年に比べて定員を減らして開催したため、新規利用者の目標値は達成できなかった。コロナが収束しない場合、次年度の協定の目標値は見直しを市と協議する必要がある。
- ・オンライン講座では新たな受講者を開拓できたものの、ネット環境が整っていない人やITスキルのない人が参加できるよう対策を講じる必要がある。
- ・対面集合型講座を求める声も多いが、感染防止のために定員縮小やグループワークができないなど制約が多く、積極的に受講者同士や講師とのコミュニケーションをはかることができない。満足度は例年のようには得られず、従来と違う運営が求められる。
- ・相談件数がコロナ禍で増加傾向にあり、内容も複雑、深刻化しているケースが増えている。難しいケースにも対応できる相談員を確保するために、人材の育成や発掘に努める必要がある。

II. 男女共同参画社会を形成するための講座・研修事業

1. メンターカフェ企画運営等業務「女子きらっ☆メンターカフェ2020」(静岡市男女共同参画課より受託)

回	日時	タイトル	場所	参加人数	担当
1	9/23 19:00~20:30	コロナ禍の就活を乗り切る ～人事部先輩女子のオンライントーク～	オンライン (Zoom)	12人	井藤 岡村 松永
2	11/3 10:00~11:30	自分らしく働き輝く 自宅開業成功のポイント	ダイニングカフェバオバブ (清水区)	11人	
3	12/3 10:00~11:30	起業も副業も! リモートで自由に働く	aowarau (葵区)	10人	
4	12/10 19:00~20:30	静岡の自立したオトナの生き方・働き方	Flowery CAFE cachette (葵区)	15人	
5	1/22 10:00~11:30	育休復帰 ストレスを感じない働き方を選ぼう	aowarau (葵区)	11人	
6	1/28 19:00~20:30	転職もキャリアアップも 資格取得で可能性を広げる	静鉄ホテルプレジォ静岡駅 南 (駿河区)	13人	

2. 働き方セミナー事業 (掛川市企画政策課より受託)

回	日時	タイトル	講師	参加人数	担当
1	2/27 13:30~16:00	仕事×ライフ×お金 未来のワタシを考えるキャリアデザイン	萩原美栄子	17人	井藤

(成果)

- ・受託事業は、新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない中でも指定管理事業同様、オンラインの活用等、工夫してすべて実施できた。
- ・前年度いったん中止した掛川市からの受託事業も延期して行うことができた。

(課題)

- ・三密を避けるため、定員を増やすことができなかった。
- ・オンラインより対面集合型を求める声も多く、十分に対策して実施したが、直前のキャンセルも多かった。

Ⅲ. 男女共同参画社会を形成するための情報の収集・発信・交流事業

1. 情報収集・発信事業

事業名	実施	内容	担当
「もしものための情報ガイド@しずおか」作成	5月	「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響」の調査結果を基にまとめた各種相談先一覧に代替え。	川村 松下
静岡市指定管理者制度実態調査	～3月	市内指定管理者制度導入施設の仕様や評価の実態把握。当団体の指定管理管理者としての課題の整理。	川村 松下

2. 交流事業

事業名	実施日	内容	担当
全国女性会館協議会第64回全国大会（熊本市）	11/21～22	基調講演、情報交換会、分科会等。事業企画大賞の発表&事例報告。	事業 職員
NPO 法人フードバンクふじのくに連携事業	6月～	連携確約書を締結後、依頼を受け、毎週水曜日に宮ヶ崎の事務所に交代で出向き、食糧の箱詰め等、作業ボランティアとして活動。	川村 高野 松下

3. 共催事業

事業名	実施日	内容・講師等	共催先	参加
コロナ対応！教育格差をなくそう@しずおかプロジェクト	5月	子どもたちの教育格差をなくすために現状把握のアンケート調査実施。	シングルペアレント101 NPO 法人しずおか共有 ネット NPO 法人 ESUNE 静岡市人材養成塾修了生有志	回答者 307人
「#学びを止めない@静岡」公開報告会	6/20 14:00～ 16:30	コロナ禍の子どもたちの学びについての調査報告とトークセッションをYouTubeで配信。 トークセッションゲスト： 山田邦彦さん（静岡サレジオ高校教諭） 辻陽介さん（静岡市立高校教諭） 小泉卓登さん（おうち先生主宰）		視聴者 121人
静岡カエル Camp!!2020 コロナ禍での地域&市民活動報告会	11/14	オンラインによる市民活動報告&研修。 助言者：IIHOE 代表・川北秀人さん （株）PEER 取締役・佐藤真琴さん 第1部：活動報告&シンポジウム 第2部：仮想理事会	静岡カエル camp!!2020 実行委員会 ※地域デザインカレッジの修了生	第1部 28人 第2部 11人

（成果）

- ・交流事業の「全国女性会館協議会第64回全国大会」（熊本市）は Zoom での開催になったため、例年は参加者が限られていたが多くの職員が視聴することができた。
- ・「NPO 法人フードバンクふじのくに連携事業」では、毎週、理事3人が交替でボランティアとして活動する中で得られた情報を事業に活かし、来年度の事業につながる可能性が生まれた。
- ・共催の3事業は、いずれも地域デザインカレッジの修了生とともに実施した。5月に行った学校休業にともなうオンライン授業等の現状についての調査では、自由記入の中に子どもと保護者がふれ合う時間ができたことや読書や趣味等を積極的に行う子どもの姿を肯定的に捉える意見が少なくなかった。コロナ禍における子どもたち、保護者（母親）の心情や実態の一端に触れることができ、教育支援者との連携の重要性を認識できた。

（課題）

- ・「もしものための情報ガイド@しずおか」作成は、女性会館のHPに情報の一覧がアップされて代替できたため、紙ベースでの冊子作成は未実施。次年度の事業に情報の更新（リニューアル）を組み入れたい。
- ・「指定管理者制度実態調査」は、準備段階で各施設の指定管理期間や評価結果等を調べたところ、仕様や評価は担当課に任されており、単純に比較できないことがわかった。このため当団体の指定管理者としての

課題をまとめ、静岡市の指定管理担当課と次年度早々に話し合いの場を持つことになった。

- ・共催事業については、いずれもオンライン中心になり、ネット環境が整っていない人やITスキルのない人に参加してもらうことができなかった。

IV. 男女共同参画社会を形成するための相談・サポート事業

事業名	実施日	内容	担当
地域デザインカレッジ修了生支援	不定期	地域デザインカレッジ修了生が続けている活動を引き続き、サポート。	松下
静岡学習支援ネットワーク団体支援	不定期	女性会館内で学習支援を行っている静岡学習支援ネットワークを引き続きサポート。随時、大学生の相談に応じるとともに、当団体が持つさまざまな支援の情報を大学生及び中・高校生、保護者にも提供。	松下

(成果)

- ・地域デザインカレッジ修了生の両河内地区での地域活動や「シングルペアレント101」「しずおか共育ネット」のコロナ禍での食糧支援の活動をサポートすることができた。地域デザインカレッジ修了生とは共催事業も行うことができた。今後、女性支援に取り組む上で、相談事業等、女性会館の機能を補完する仕組みを構築するための視座を得ることができた。
- ・静岡市男女共同参画課から静岡学習支援ネットワークの活動について問い合わせがあり、「子供と家族・若者応援団表彰」(内閣府)への推薦が決定。応募書類等作成に助言。特命担当大臣表彰を受賞した。

(課題)

- ・静岡学習支援ネットワークの活動は貸室が使えなくなり、一時休止。オンラインも使って再開したが、学生と会うことができなかったため、新しく2020年に入会した大学生との意思疎通等が難しかった。

V. その他

1. 講師等派遣

月日	事業名	依頼元	担当
12/5	高校生のためのキャリア講座	常葉高校	萩原
3/11	「人生を切り拓くライフプランニング教育推進事業」外部評価	聖心女子大学	谷口

業務に差し支えない範囲で、理事等が団体を代表して依頼を受けた事業は以下のとおり。

月日	事業名	依頼元	担当
6/20	2020年度市民公益活動事業費補助金審査会	焼津市	川村
9/16	県立静岡城北高校「城北スマイルプロジェクト」	NPO 法人しずおか共育ネット	川村
10/23	男女共同参画職員研修	焼津市	谷口
12/13	高校生向けキャリア支援事業成果報告会	静岡市商業労政課	川村
1/19～2/12	地域における男女共同参画推進のための事業企画研修(オンライン)	国立女性教育会館	松下
1/25	全学教育科目(共通科目) NPO・ボランティア論「男女共同参画とNPO活動」	静岡大学	松下
3/7	長泉町地域セミナー合同講演会	長泉町	川村

VI. 組織部門

1. 会員

2020年度の正会員は19人、賛助会員は10人。

正会員、賛助会員を増やすための課題を理事会で整理する予定であったが、未実施となった。

2. 役員及び職員

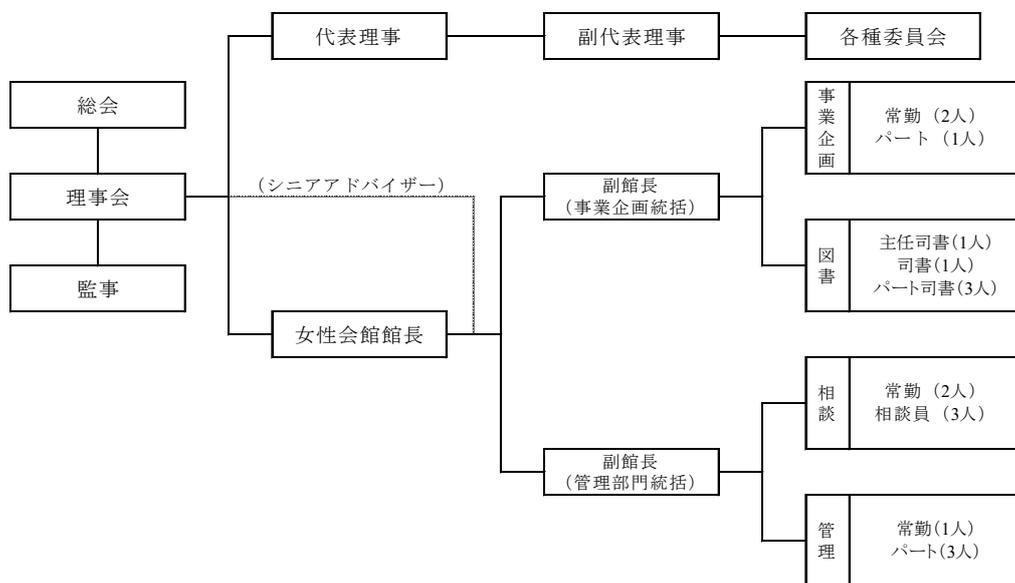
1) 役員（任期：2020年6月1日～2022年5月31日）

2020年5月末で役員の任期が満了となったが、すべての役員は重任となった。次期は世代交代を念頭に新理事候補を探すよう努める。

役職	氏名（五十音順）
代表理事	松下光恵
副代表理事	川村美智
理事	居城舜子、井藤喜美江、犬塚協太、高野康代、谷口年江、鍋倉伸子、萩原美栄子
監事	川村栄司、桜井俊秀

2) 職員

女性会館の職員は、年度当初は19人だったが、相談員養成のため11月から20人態勢で臨んだ。



3. 総会

新型コロナウイルス感染が収束しないため、会員に資料を送付し、書面決議とした。

開催日時	名称	正会員数	出席者数	書面評決書提出
5/30 10:00～12:00	第16期通常総会	19人	3人	16人

4. 理事会

回	開催日	主な審議事項	参加理事数	参加監事数
第1回	4/28	①2019年度の事業報告案について ②2019年度の決算報告案について ③2020年度の事業計画案について ④2020年度の予算計画案について ⑤役員改選について	8人 書面 1人	
第2回	5/31	①代表理事互選	5人	
第3回	7/6	①国の「地域女性活躍推進交付金」応募について	8人	2人
第4回	9/15	①次期指定管理に向けた戦略会議の設置について	8人	2人
第5回	11/24	自由討議 ①組織のあり方について ②次期指定管理の提案について	8人	1人
第6回	1/19	①2021年度の人員配置について ②同一労働同一賃金の義務化について ③2021年度事業計画案について	7人	2人
第7回	3/24	①同一労働同一賃金の義務化への対応及び就業規則の変更について ②2021年度の指定管理事業以外の事業計画について ③「男女共同参画」等の文言の使用について	7人	

(成果)

- ・新型コロナウイルス感染が収束しないため、理事会はウェブ会議とし、例年より多い7回の理事会を実施できた。
- ・従来からの懸案事項であった当団体の今後のあり方を職員とともに検討する「ビジョン研修」を実施し、3つのビジョンができ、理事会に諮り助言をもらうことができた。
- ・同一労働同一賃金の義務化への対応及び就業規則の変更についても検討し、居城理事の助言を得て決定した。
- ・次年度に女性会館の第4期の指定管理者募集があることから、理事会に「戦略会議」を設け、これまでの課題を整理するとともに第4期の提案内容を検討していくこととなった。井藤理事、川村理事、高野理事、谷口理事、萩原理事、松下理事の6人で行うことが了承され、検討した案は理事会に諮っていくことになった。

(課題)

- ・ウェブ会議での理事会の回数は多くなったが、時間内で話し合えず持ち越すものも多かった。
- ・コロナ対応により参加型、集合型の事業の実施は困難となり、会員を増やすためのNPO活動については話し合うことができなかった。